※令和４年度以降入学生用

学校番号	103

令和８年度　地歴公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校 政治・経済　（第一学習社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・政治や経済について普段から興味を持つ。
・主体的・意欲的な態度で授業に取り組む。
・授業をただ受けるだけでなく、現代の諸課題を解決する方法に結びつけることを意識する。

2　学習の到達目標

a:社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べ，まとめる技能を身につける。
b:国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や，政治経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題を把握し，説明するとともに，身につけた判断基準を根拠に社会の在り方などについて構想する力や，構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して，合意形成や社会参画に向かう力を養います。
c:よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，日本および国際社会において国家および社会の形成に，より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めます。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解しているとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題を把握し，説明するとともに，身に付けた判断基準を根拠に構想したり，構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して，合意形成や社会参画に向かおうとしたりしている。	国家及び社会の形成者として，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期・２学期	現代日本の政治経済	日本国憲法と現代政治のあり方 望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方 （経済分野） 市場経済の機能と限界 持続可能な財政および租税のあり方 金融を通した経済活動の活性化 経済活動と福祉の向上	(a) ・政治と法の意義と機能，基本的人権の保障と法の支配，権利と義務との関係，議会制民主主義，地方自治について，現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 ・経済活動と市場，経済主体と経済循環，国民経済の大きさと経済成長，物価と景気変動，財政の働きと仕組み及び租税などの意義，金融の働きと仕組みについて，現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 ・現代日本の政治・経済に関する諸資料から，課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付けている。 (b) ・民主政治の本質を基に，日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的･多角的に考察し，表現している。 ・政党政治や選挙などの観点から，望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ・経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察し，表現している。 ・市場経済の機能と限界，持続可能な財政及び租税の在り方，金融を通した経済活動の活性化について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 (c) 日本の政治･経済にいて，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート	レポート 提出課題

※令和４年度以降入学生用

	現代日本の諸課題の探究	・少子高齢社会における社会保障の充実・安定化 ・地域社会の自立と政府 ・多様な働き方・生き方を可能にする社会 ・産業構造の変化と起業 ・歳入・歳出両面での財政健全化 ・食料の安定供給の確保と持続可能な農業構造の実現 ・防災と安全・安心な社会の実現	(a)なし (b)少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，地域社会の自立と政府，多様な働き方・生き方を可能にする社会，産業構造の変化と起業，歳入・歳出両面での財政健全化，食料の安定供給の確保と持続可能な農業構造の実現，防災と安全・安心な社会の実現などについて，取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察，構想し，よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明，論述している。 (c) 現代日本における政治・経済の諸課題について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート	レポート 提出課題
3学期	現代の国際政治・経済	国際法の果たす役割 国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割 （経済分野） 相互依存関係が深まる国際経済の特質	(a) ・国際社会の変遷，人権，国家主権，領土（領海，領空を含む。）などに関する国際法の意義，国際連合をはじめとする国際機構の役割，我が国の安全保障と防衛，国際貢献について，現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 ・貿易の現状と意義，為替相場の変動，国民経済と国際収支，国際協調の必要性や国際経済機関の役割について，現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 ・現代の国際政治・経済に関する諸資料から，課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付けている。 (b) ・国際社会の特質や国際紛争の諸	定期考査 小テスト	定期考査 レポート	レポート 提出課題

※令和４年度以降入学生用

		国際経済において求められる日本の役割	要因を基に，国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し，表現している。 ・国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ・相互依存関係が深まる国際経済の特質について多面的・多角的に考察し，表現している。 ・国際経済において果たすことが求められる日本の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 (c) 代の国際政治・経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。			
	国際社会の諸課題の探究	・グローバル化にともなう人々の生活や社会の変容 地球環境と資源・エネルギー問題 ・国際経済格差の是正と国際協力 ・イノベーションと成長市場 人種・民族問題や地域紛争の解決に向けた国際社会の取り組み ・持続可能な国際社会づくり	(a)なし (b)グローバル化に伴う人々の生活や社会の変容，地球環境と資源・エネルギー問題，国際経済格差の是正と国際協力，イノベーションと成長市場，人種・民族問題や地域紛争の解決に向けた国際社会の取組，持続可能な国際社会づくりなどについて，取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察，構想し，よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明，論述している。 (c)グローバル化する国際社会の諸課題について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度